

IF 学生成果発表会④ 感想

「免疫制御とシグナル伝達」グループ

9/29

This was an interesting meeting and I am grateful that I was allowed to participate in it. Several good papers were presented during the meeting and followed by good comments and discussions.

I presented my data and my topic was “Mesenchymal Stem Cells Ameliorate Elastase Induced Emphysema through Soluble Factors not through their Multipotentiality Properties” in which I showed that the released factors and cytokines from mesenchymal stem cells has a major role in ameliorating the lung injury. The comment and questions I received were very positive and opened my eyes on other areas in my research I did not notice before.



I suggest that such meeting will be more frequently and opened for more laboratories to participate in as this will create more opportunities and help the students like me to think in better way about the outcome of their researches.

Ahmed Katsha (呼吸器病態学)



司会・高井俊行先生

「免疫制御とシグナル伝達」というグループでの発表会でしたが、普段はあまり触れることのない幅広い研究内容の発表を聞くことが出来、良い刺激を受けることが出来ました。自身の研究発表については、研究室外の先生方の前で口頭発表出来る貴重な機会であり、たくさんのご意見を頂くことが出来ました。ご指導下さいました先生方、拠点支援室の皆様にお礼申し上げます。

今田 道代

(加齢研・
遺伝子導入研究)

佐竹正延先生



活発な質問が飛び交いました



石井直人先生

先月行われた IF 成果発表会でこの五年間大学院生活で研究していた結果をようやく発表することができました。発表会で先生方から多くの質問を受け、今までの研究を多方面から考えることができました。更に、他のラボの研究や議論を聞いて、大変勉強になりました。

Won Fen Wong

(加齢研・免疫遺伝子制御研究)





先日は誠にありがとうございました。これまでの研究成果をまとめる良い機会になりましたし、分野外の先生方からも有意義なアドバイスや質問を賜うことができました。今後はこの経験を活かし、博士課程の最終審査に向け準備をして参りたいと考えております。

三嶋利明（生命科学研究科・情報伝達分子解析）



I F 成果発表会では、フィールドが違う基礎研究をされている方や、臨床で研究されている方の発表は勢力的で、興味深く、有意義な時間を過ごすことができました。自分の研究内容をまとめ、発表するという、良い機会を与えていただき感謝しています。今回の経験を次へと活かしていきたいと思いました。

船木 智（加齢研・免疫遺伝子制御研究）



発表会は、日々接することのない基礎系の発表を聞けたという点では有意義であったと思いました。ただ時間が長かったことは今後検討していただきたいと思います。

荒井 真衣子（婦人科学）

正直プレゼンテーションの苦手な私にとっては、このような場数を踏む機会を与えて頂いたのは大変勉強となりました。また、分野の異なる他の方の研究を伺う機会は、実際問題ほとんど無いので、そういう意味でも勉強になり、励みとなりました。

この度は本当にありがとうございました。

木村 修（免疫学）

